



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 長野日本無線株式会社

コード番号 6878 URL <http://www.nirc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸山 智司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員総務本部長

(氏名) 蛭田 公広

TEL 026-285-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,109	△2.8	△1,349	—	△1,399	—	△1,503	—
25年3月期第2四半期	13,484	3.4	256	△29.9	162	△33.7	107	△49.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △1,501百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 93百万円 (△52.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△41.30	—
25年3月期第2四半期	2.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	21,260	4,232	17.9	116.26
25年3月期	22,544	5,271	23.4	144.79

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,815百万円 25年3月期 5,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	1.8	△1,450	—	△1,600	—	△1,700	—	△46.69

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	36,420,538 株	25年3月期	36,420,538 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	10,117 株	25年3月期	9,196 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	36,410,512 株	25年3月期2Q	36,411,342 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産および受注の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融政策や経済対策等への期待感から、円安および株高が進行し、輸出環境や企業収益の改善が見られるなど、景気は緩やかに回復しつつあります。しかし、一方では、新興国経済の景気減速や輸入原材料価格の高騰が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の下、当社グループでは、「アライアンスの拡充に基づく事業領域の拡大」、「中国工場の生産能力拡大を武器とした海外需要の取り込み」、「エレクトロニクス3社(当社・日本無線(株)・上田日本無線(株))による事業構造改革」を基本戦略とし、継続して諸施策の推進を図ってまいりました。

エレクトロニクス3社にて展開しております事業構造改革においては、日本無線(株)の生産拠点の移転について検討を進める中で、本年2月に日本無線(株)に対して実施した土地の一部譲渡に加え、8月に同社に対して土地・建物の一部譲渡を行いました。

さらに、本改革における生産拠点の再構築に伴い、事業の選択と集中による経営資源の戦略的な再配置を検討し、各事業の事業方針について見直しを実施いたしました。その結果、当社が事業活動を展開する3つのセグメントのうち、電源・エネルギー機器セグメントにおける産業機器用電源については、事業撤退を視野に大幅に縮小することとし、それに伴い、当第2四半期連結会計期間において当該事業に係る資産グループの固定資産の減損処理を実施し、減損損失を特別損失に計上いたしました。

また、前述のとおり、事業の選択と集中による経営資源の戦略的な再配置を行うべく、改めて当社のたな卸資産の評価を行いました。その結果、当第2四半期連結会計期間において、電源・エネルギー機器セグメントを中心にたな卸資産の評価損を計上いたしました。なお、今回のたな卸資産の評価は、新たな成長に向けた事業構造改革の一環として、財務体質の健全化と収益力の強化を図ることを考慮しております。

今後、日本無線(株)および上田日本無線(株)とともに、経営資源の最適配置を加速させ、収益向上を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は次のとおりとなりました。

売上高は、前年同期に比べ、電源・エネルギー機器セグメントが増加したものの、情報・通信機器セグメントおよびメカトロニクス機器セグメントが減少したため、131億9百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

利益につきましては、当第2四半期連結会計期間において上記のたな卸資産の評価損10億1千1百万円の計上などにより、営業損失13億4千9百万円(前年同期は営業利益2億5千6百万円)、経常損失13億9千9百万円(前年同期は経常利益1億6千2百万円)となりました。さらに、土地売却による特別利益3億2千万円を計上したものの、固定資産の減損損失2億6千2百万円の計上および法人税等調整額などにより、四半期純損失は15億3百万円(前年同期は四半期純利益1億7百万円)となりました。

セグメント別の売上高および営業損益は、以下のとおりであります。

なお、各セグメントの営業損益は、配賦不能営業費用控除前の営業損益であります。

(情報・通信機器)

官公庁向け機器は増加しましたが、衛星関連機器などの公共インフラ設備機器が減少しました。この結果、本セグメントの売上高は54億6千7百万円(前年同期比12.2%減)、営業損失は8千3百万円(前年同期は営業利益3億1千7百万円)となりました。

(メカトロニクス機器)

三次元造形機などの業務用特殊機器は増加しましたが、大判複写機などの事務用機器や医用機器が減少しました。この結果、本セグメントの売上高は32億9千4百万円(前年同期比12.1%減)となりました。利益につきましては、自主開発機種などのたな卸資産の評価損を計上した影響もあり、営業損失3億7千1百万円(前年同期は営業利益3千5百万円)となりました。

(電源・エネルギー機器)

ハイブリッド車用を中心とした車載用電子部品およびACアダプタなどが増加しました。この結果、本セグメントの売上高は36億4千1百万円(前年同期比28.3%増)となりました。利益につきましては、価格競争の激化に伴う採算性悪化や、事業方針の見直しに伴うたな卸資産の評価損の計上などにより、営業損失10億5千1百万円(前年同期は営業損失9千2百万円)となりました。

上記のセグメントに含まれない「その他」の売上高は、7億7百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は7千7百万円(前年同期比3.1%減)となりました。なお、配賦不能営業費用は7千9百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ、12億8千3百万円減少しました。

これは、仕掛品の増加9億8千9百万円、現金及び預金の増加2億5千8百万円、建物及び構築物の増加2億1千3百万円、受取手形及び売掛金の減少16億1千2百万円、土地の減少7億7千9百万円、原材料及び貯蔵品の減少2億1千4百万円などが主な要因です。

負債は前連結会計年度末に比べ、2億4千4百万円減少しました。

これは、短期借入金の増加7億円、再評価に係る繰延税金負債の増加1億7千1百万円、支払手形及び買掛金の減少4億6千7百万円、長期借入金の減少3億8千7百万円などが主な要因です。

純資産は前連結会計年度末に比べ、10億3千8百万円減少しました。

これは、利益剰余金の減少17億1千7百万円、少数株主持分の増加4億1千7百万円、土地再評価差額金の増加1億6千万円などが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間につきましては、(1)項に記載の通り、業績が期初の予想数値から大幅に下回る見込みとなったため、平成25年10月25日付で予想数値の修正を行いました。これに基づき、通期の業績予想につきましても、事業動向を踏まえ、同日に修正を行いました。現時点では、平成25年10月25日公表の予想数値からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(在外子会社の収益および費用の本邦通貨への換算基準の変更)

在外子会社の収益および費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、エレクトロニクス3社の事業構造改革の進展に伴い、在外子会社の当社グループ外に対する売上高の重要性が増加すると見込まれる状況において、親会社と会計方針を統一し、為替相場の変動による期間損益への影響をよりの確に反映させるために行ったものであります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	705,308	964,093
受取手形及び売掛金	7,716,093	6,103,829
商品及び製品	622,721	639,992
仕掛品	5,438,552	6,427,671
原材料及び貯蔵品	1,817,865	1,603,519
繰延税金資産	75,034	20,641
その他	226,025	244,938
貸倒引当金	△15,614	△11,748
流動資産合計	16,585,986	15,992,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,382,685	1,595,966
機械装置及び運搬具（純額）	499,705	408,782
土地	3,089,468	2,310,390
リース資産（純額）	160,752	141,084
建設仮勘定	124,064	10,214
その他（純額）	175,068	147,693
有形固定資産合計	5,431,743	4,614,132
無形固定資産	156,671	266,777
投資その他の資産		
投資有価証券	202,021	229,604
繰延税金資産	25,786	23,866
その他	161,364	155,067
貸倒引当金	△19,472	△21,993
投資その他の資産合計	369,700	386,545
固定資産合計	5,958,115	5,267,455
資産合計	22,544,102	21,260,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,032,137	5,565,076
短期借入金	5,200,000	5,900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,447,596	1,571,596
未払金	383,671	283,706
未払費用	301,732	259,853
未払法人税等	164,820	40,401
製品保証引当金	23,266	23,266
その他	420,572	303,493
流動負債合計	13,973,796	13,947,394
固定負債		
長期借入金	2,069,214	1,681,416
繰延税金負債	20,459	29,950
再評価に係る繰延税金負債	421,491	592,696
退職給付引当金	496,352	499,701
役員退職慰労引当金	19,452	10,904
環境対策引当金	16,964	16,964
資産除去債務	81,422	102,599
その他	173,113	145,849
固定負債合計	3,298,469	3,080,081
負債合計	17,272,265	17,027,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,649,580	3,649,580
利益剰余金	941,529	△776,242
自己株式	△1,673	△1,795
株主資本合計	4,589,435	2,871,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,699	41,523
土地再評価差額金	769,835	929,959
為替換算調整勘定	△111,133	△27,602
その他の包括利益累計額合計	682,401	943,879
少数株主持分	—	417,494
純資産合計	5,271,837	4,232,916
負債純資産合計	22,544,102	21,260,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	13,484,937	13,109,709
売上原価	11,823,889	12,857,036
売上総利益	1,661,048	252,672
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	143,058	154,410
給料	698,120	786,210
退職給付費用	31,808	28,621
その他	531,146	633,242
販売費及び一般管理費合計	1,404,133	1,602,485
営業利益又は営業損失(△)	256,914	△1,349,812
営業外収益		
受取利息	545	1,157
受取配当金	2,367	2,479
受取賃貸料	4,064	4,078
助成金収入	34,834	—
貸倒引当金戻入額	3,231	3,829
為替差益	—	36,217
その他	9,754	23,757
営業外収益合計	54,798	71,519
営業外費用		
支払利息	71,536	65,912
売上債権売却損	28,816	32,745
為替差損	37,249	—
その他	11,400	22,398
営業外費用合計	149,002	121,055
経常利益又は経常損失(△)	162,709	△1,399,349
特別利益		
固定資産売却益	—	320,905
持分変動利益	—	465
特別利益合計	—	321,371
特別損失		
減損損失	—	262,130
特別損失合計	—	262,130
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	162,709	△1,340,108
法人税、住民税及び事業税	48,597	35,522
法人税等調整額	6,743	173,269
法人税等合計	55,340	208,792
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	107,368	△1,548,900
少数株主損失(△)	—	△45,233
四半期純利益又は四半期純損失(△)	107,368	△1,503,667

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	107,368	△1,548,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,677	17,824
土地再評価差額金	—	△53,981
為替換算調整勘定	11,553	83,351
その他の包括利益合計	△14,123	47,194
四半期包括利益	93,245	△1,501,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,245	△1,456,293
少数株主に係る四半期包括利益	—	△45,412

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	162,709	△1,340,108
減価償却費	164,790	229,486
減損損失	—	262,130
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,869	3,348
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,833	△8,548
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,181	△1,345
受取利息及び受取配当金	△2,913	△3,636
支払利息	71,536	65,912
固定資産売却損益(△は益)	—	△320,905
売上債権の増減額(△は増加)	1,381,558	1,614,371
たな卸資産の増減額(△は増加)	△815,515	△704,814
その他の流動資産の増減額(△は増加)	7,071	△13,416
仕入債務の増減額(△は減少)	△695,205	△551,071
未払費用の増減額(△は減少)	7,259	△40,627
未払消費税等の増減額(△は減少)	△78,372	△118,700
その他の流動負債の増減額(△は減少)	13,374	△85,543
その他	34,601	84,312
小計	257,418	△929,156
利息及び配当金の受取額	2,913	3,636
利息の支払額	△98,645	△101,386
法人税等の支払額	△57,185	△145,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,500	△1,172,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	—
有形固定資産の取得による支出	△324,618	△484,970
有形固定資産の売却による収入	—	1,202,544
その他	△49,291	△144,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△393,909	573,448
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	820,000	700,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△850,475	△763,798
少数株主からの払込みによる収入	—	450,730
リース債務の返済による支出	△50,101	△37,024
自己株式の取得による支出	—	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,576	849,785
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,149	8,282
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△364,836	258,784
現金及び現金同等物の期首残高	1,043,057	685,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	678,221	944,093

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報・通 信機器	メカトロ ニクス機 器	電源・エ ネルギー 機器				
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,223,431	3,747,572	2,839,122	674,811	13,484,937	—	13,484,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,076	—	2,101,282	2,102,359	△2,102,359	—
計	6,223,431	3,748,649	2,839,122	2,776,093	15,587,297	△2,102,359	13,484,937
セグメント利益又は損失 (△)	317,564	35,003	△92,901	80,255	339,922	△83,007	256,914

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話機器の販売事業およびソフトウェア開発や製造の請負事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	339,922
全社費用	△144,112
セグメント間取引消去	57,396
その他	3,708
四半期連結損益計算書の営業利益	256,914

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報・通 信機器	メカトロ ニクス機 器	電源・エ ネルギー 機器				
売上高							
外部顧客に対する売上高	5,467,254	3,294,012	3,641,434	707,007	13,109,709	—	13,109,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,368	—	2,087,098	2,089,467	△2,089,467	—
計	5,467,254	3,296,381	3,641,434	2,794,105	15,199,176	△2,089,467	13,109,709
セグメント利益又は損失 (△)	△83,948	△371,410	△1,051,353	77,757	△1,428,955	79,142	△1,349,812

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話機器の販売事業およびソフトウェア開発や製造の請負事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,428,955
全社費用	50,913
セグメント間取引消去	74,114
その他	△45,885
四半期連結損益計算書の営業利益	△1,349,812

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「電源・エネルギー機器」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、262,130千円であります。

4. 補足情報

(1) 生産および受注の状況

① 生産実績

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同期比 (%)
情報・通信機器 (千円)	5,467,656	87.5
メカトロニクス機器 (千円)	3,296,239	87.6
電源・エネルギー機器 (千円)	3,604,065	127.7
その他 (千円)	175,600	140.1
合計	12,543,562	96.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 金額は販売価格によっております。
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同期比 (%)
情報・通信機器 (千円)	7,360,549	95.4
メカトロニクス機器 (千円)	3,550,033	92.7
電源・エネルギー機器 (千円)	4,195,038	124.0
その他 (千円)	707,007	104.8
合計	15,812,628	101.3

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。